

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年11月15日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102001		
法人名	有限会社 エリア・ネットワーク・サービス		
事業所名	グループホーム あしたば	ユニット名	9名
所在地	〒310-0913 茨城県水戸市見川町丹下一ノ牧2131-1303		
自己評価作成日	平成22年4月4日	評価結果 市町村受理日	平成22年11月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年5月18日	評価確定日	平成22年9月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

高齢者の増加に備えて、同敷地内にデイサービス、ショートステイを有する多機能型のグループホームになっている。家庭的な雰囲気の中で、入居者様の個性を尊重し、その人らしく生活が出来るよう職員のサービスを統一している。また、個別リハビリや体操を生活の中に取り入れ、自立支援にも力を入れている。近隣には総合運動公園、小売店、学校等があり環境にも恵まれており、散歩や買物等にも出かけている。地域の行事にも積極的に参加し地域との交流も大切にしている。
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人の理念である「健康で生きがいのある豊かな生活をめざします」に基づき、家庭的な雰囲気の中で利用者の楽しみである初詣に出かけたり、弁当を持ち遠方に花見に行ったり、日帰りの温泉旅行などを支援している。 家族等を招待し一緒に食事をしたり、職員の手作り衣装を着て利用者がお雛様に扮するなどの年間行事が多彩である。 2ヶ月に1回、行事の写真を掲載した広報誌で家族等に利用者の様子を知らせ、利用者と家族等の関係の継続に配慮している。 災害時の協力体制の重要性を認識するとともに、近隣住民宅を個別に訪問し協力を依頼している。 事業所主催の夏祭りに近隣住民を招待するとともに、利用者と職員は地域の祭り見物に行ったり、近くの小学校から招待を受け訪問したり、児童が来訪するなど交流している。 近隣のパチンコ店から招待を受けることがあり、利用者の楽しみとなっている。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るく笑顔の絶えない家庭的な環境」「その人らしく過ごせる日常的支援」を目標に、職員一人一人が毎日の職務を実践しています。	法人理念とは別に設立当初に管理者は併設事業所共有の理念を作成し、玄関や事務所に掲示しているが、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念とはなっていない。	地域に根ざす事業所として、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を全職員で作成し共有するとともに、実践につなげることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当施設の夏祭り「あしたば祭り」に際し、近隣の方々を招待したり、あるいは地元見川地区の丹下祭に参加したりして、地域の方々との交流を深めるよう努めている。また施設周辺の散策時にはご近所の方と挨拶を交わしたり、少しずつだが親交を深めている。	事業所の夏祭りに地域の人々を招待するとともに、利用者は職員と一緒に地域の祭りや小学校の運動会に出かけている。 事業所に小学生が遊びに来たり、地域のパチンコ店から招待を受けるなど利用者は地域の一員として生活している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設周辺の散歩の折や外出レクの際には、お会いした方との「笑顔の挨拶」を重視し実行している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回実施している。その中で出された内容や議題に関しては、積極的に取り組んでいる。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、民生委員、市職員などで年6回開催している。 会議では事業所の活動状況や取り組んでいる内容を報告したり、民生委員から防災に関するアドバイスを得ているほか、各委員から地域の情報や意見、助言を得ている。 時の話題を取り入れて双方向的な会議になるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議開催時に市担当者出席を依頼し、ご意見等を頂いている。新型コロナウイルス対策やノロウイルス対策に関して市から情報を頂いたり、あるいはこちらから問い合わせなどの情報交換を行っている。	市職員は運営推進会議に参加し、積極的に介護サービスの情報や意見を提供している。 市職員から感染症や食中毒対策などの情報を得たり、事業所から問い合わせをするなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	シルバーカーを使用している方で、徘徊時には転倒の危険がある方に対しても、常に見守りを重視して声かけや一部介助を行い、居室内に留めておくようなことはしない。玄関はオートロックを採用しているが、ご家族様にはご理解いただいている。外出したい利用者様には職員が付き添い、天候にもよるが随時外出できるようにしている。	職員は研修会で身体拘束とは何かを学び見守りを重視し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 事業所前が幹線道路のため、危険防止のため家族等の承諾を得て玄関を施錠しているが、外出したい利用者には職員が付き添い支援している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関する研修に全員が参加できないので、参加できた職員の報告やレジメを参考にして知識を深めるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実施されている研修に参加している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所契約時に、入居者様とご家族様に契約内容の説明を行っている。不安や疑問点に関しては、ご理解、納得いただけるように時間をかけて説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情受付箱を設置している。しかし、ご家族様からの利用がほとんど無い状況なので、行事の折にご家族も招待して食事会を開いています。ご家族と職員の距離が縮まり苦情や相談が話し易くなる一助としたいと考えています。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、家族アンケートを実施したり玄関に意見箱を設置しているが、投函の実績は無い。 家族等からは事業所の行事や食事会等の来訪時に声をかけ、要望を聴くよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一回実施しているカンファレンスに於いて、職員が感じている事を出し合い業務上の改善につなげている。	管理者は毎日の申し送りや月2回の会議で職員の意見や提案を聞くように努め、出た意見等を運営に反映させているほか、日頃から職員が意見を言えるように配慮している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成時には職員の希望休日を事前に聴取し、可能な限りに於いてシフトに反映させており、職員個人の余暇の利用を積極的に支援している。また有給休暇等も利用してもらい、疲労やストレスの減少を目指している。結果として向上心の増大に繋がることを期待している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員教育には内部研修ビデオを利用している。外部研修修了者は、月1回開催の全体会議で報告するなどして知識の共有を目指している。介護職員としての質の向上を目指すために、系列の施設への研修（2～3ヶ月）を実施している。今年度は各施設に研修を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	当施設内にデイサービスやショートステイサービスがあるので、行事の共催を実施したり相互に行き来して、交流を深めたり情報交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の経歴や現況についての聞き取りを充分に行って対応する事で、当初の不安感を軽減させている。その後はある程度の期間をかけて疑問や悩みに応えて行く中で、その人らしい生活サイクルを探り対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人や家族の立場を優先し、要望や不安な事などを優先して伺っている。大きな生活変化が生じないようにしながら、徐々に日常生活を作っていく事に留意している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の経歴や現況についての情報と共に、ご家族の希望を伺う。同時に困っている事や不明な事に対しても話して頂き、必要があれば公共機関の窓口を紹介している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	サービス実施にあたり本人の生活嗜好を考慮しながら、危険の無い範囲の作業やお手伝いをして頂いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時に声をかけて、家族の要望や相談を伺っている。家族が納得できるサービスを提供し、入居者が安心して日常生活が送れるようサービスを実施している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外の馴染みの人には、特に連絡等はしていない。しかし、特定の利用者には年に数回面会等がある。	職員は日々の生活の中から、利用者の生活習慣やこれまで培ってきた人や場所との関係の把握に努め利用者毎に記録し職員間で共有している。 職員は利用者の希望にそえるよう、近隣の馴染みの場所に同行するとともに、遠方の場合は思いを家族等に伝えている。 利用者の要望に応じて、電話をかけたたり手紙を出す支援をし、利用者の馴染みの関係の継続に努めている。 家族等以外にも馴染みの人が来訪している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションの参加やボランティア慰問への積極的な参加誘導を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の連絡は特にしていない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント時に、本人の生活歴や家族の意向等を聴取し、結果を「確認表」に記入している。日々の生活の中で、趣味や得意な事を把握しようと努めている。	職員は日々の係わりの中で利用者と話をしたり、コミュニケーションを図りながら、一人ひとりから要望や意向の把握に努めている。 意向の把握が困難な場合は職員間で意見交換をし、利用者本位に支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時に確認している。			
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタル測定にて確認している。申し送り時やカンファレンス時に、変化等のあった状況を話し合っている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一回のカンファレンスにより、本人や家族の希望がサービスに取り込まれているかを検討している。	アセスメントで利用者や家族等の思いや暮らしを把握するとともに、全職員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行い介護計画書を作成している。 短期、長期の見直しを実施するとともに、利用者に変化があった場合は現状に即した介護計画に見直し、家族等の確認を得ている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌と個別の記録を記入している。月1回のカンファレンスに於ける職員情報をもとに見直している。家族からの相談にも応じ、問題があれば職員と話し合っって介護計画に取り入れ、利用者本位のサービスを提供できるよう関わっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同じ事業所のデイサービスやショートステイと連携をとりながら対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設の夏祭りの折には、近隣の人々に参加の声かけをしている。又、近くの学校の生徒や児童によるボランティア活動も積極的に受け入れ、交流を楽しんでいる。年1回開催される地域の夏祭りにも参加し、入居者も盆踊りに参加して楽しんでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関の指定医が決まっており、月2回の訪問診療を行っている。本人の指定医への受診支援も行っている。	利用前からのかかりつけ医を希望する場合は継続して受診できるよう支援している。 月2回協力医による訪問診療があり、利用者が適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内に看護師がおり、健康管理をしている。看護職員は利用者の状態、職員や家族の情報を適切に医師に伝え診療を受けることができ、適切な治療と看護が可能である。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	指定医が医療機関と連携している。病院関係者との情報交換は施設職員が行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態が悪化して末期状態になった場合は、医療機関対応としている。	事業所として看取りはしない方針であるが、重度化した場合や終末期の対応については、かかりつけ医と相談しながら利用者と家族等の希望にそった支援をしている。重度化や終末期に向けた事業所の対応方針や同意書などの書類が作成されておらず、契約時に利用者や家族等に説明するまでには至っていない。	利用者及び家族等が安心して過ごせるように、重度化や終末期に向けた事業所の対応方針や家族等の同意書など書類を整備するとともに、契約時に利用者や家族等に説明することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に備えて実践している。又研修後の記録をまとめ、常に参考できるようにになっている。緊急連絡網をわかりやすい所に掲示している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内での防災訓練を実施している。日中の訓練と夜間の訓練を別個に実施している。水消火器による消火訓練も実施している。	消防署指導のもと夜間を想定した避難訓練も含む総合訓練を年2回実施しているが、訓練で明らかになった問題点や反省点を記録するまでには至っていない。民生委員のアドバイスもあり近隣住民に災害時の協力が得られるように呼びかけている。	次回の訓練に活かせるように、訓練の状況や反省点を記録することを期待する。近隣住民の協力が得られるように運営推進会議で検討したり、チラシを配布するなど、訓練への参加を呼びかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライバシーを配慮した介護を行っている。また仕事の役職を誇りに思っている方には、否定しない対応を心掛けている。	職員は利用者の尊厳やプライバシーを大切にし、日々の係わりの中でさりげないケアを心がけ、自己決定しやすい言葉かけをするように努めている。 個人情報の漏洩防止対策も整備されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いや希望を表に出しやすいよう、聞く姿勢や態度に十分に注意し、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位のペースになるよう職員が話し合い、時間配分を見直したりして本人に適したサービスを提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望を優先している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に食事を楽しんだり、野外で食事をしたり、利用者とのコミュニケーションの中で食事の好み等を把握する。食事の後片づけは毎食行っている。	利用者と職員で会話を楽しみながら利用者のペースに合わせて食事をしている。 グリーンカーテンにしたゴーヤや、庭で作った季節の野菜を食材に活かしている。 年2回の外食や野外での弁当など、家族等と一緒に食べる行事食は利用者の楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分チェック、排尿チェック、服薬チェック表にて記録している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自室にて個別対応している。義歯の手入れは自分でできるように誘導している。難しい人には毎食後職員が支援している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表にてチェックし、個人の排泄パターンを把握し誘導支援している。	職員はトイレでの排泄が大切と考え利用者一人ひとりの排泄パターンを記録し把握するとともに、利用者の状態や体調に合わせてトイレ誘導や声かけを行っている。 入居時に紙おむつを使用していた利用者が、適切なトイレ誘導により、夜間も紙おむつを使用しなくて済む程に改善している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘時には水分補給や腹部マッサージを行っている。ストレスが生じないように外出や散歩などを行い気分転換を図っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	バイタルチェックを行い、その日の体調変化を見極めている。ゆっくり安心して入浴を楽しめるよう支援している。	毎日午後に入浴できる体制となっているが、殆どの利用者は1日おきに入浴している。 暑い日には毎日入浴する利用者が多くなるなど、利用者の希望にそった入浴を支援している。 入浴しなかった利用者には足浴を実施し、利用者や家族等から喜ばれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	集団活動後などは疲労の程度により休息をとるようにしている。又身体状況により、午前、午後とベットに横になって頂く事もある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カルテに個人の服薬表がファイルしており、各職員が目を通すことができるようになっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	清掃、洗濯物の片づけや食器拭き等、一人一人にあった役割を支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設周辺の散歩や外出レクを行っている。	利用者と職員は日常的に近隣を散歩したり、広い敷地内で日光浴を楽しんでいる。 初詣や季節の花見、日帰り温泉旅行、弁当持参の外出など、利用者の楽しみとなるように計画を立て外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、金銭管理ができる利用者は居ないため、施設管理としている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族への電話の希望がある場合には、職員対応にて電話をかけ話をしてもらっている。手紙のやり取りは行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロー内では、畳を敷いてコタツを置いた空間をもうけたり、南向きにソファを置いて利用者がくつろげるようにしている。テラスもあり、いつでも出られるようにしている。フローには花や壁絵等を飾り、季節感を味わう事が出来るようにしている。	事業所全体が清潔に保たれ、居間の一面には和室があり、利用者が寛いだり洗濯物をたたむ時に利用している。 居間の壁面には利用者と職員が折り紙や切絵で作製した季節の作品が飾ってあるが、共用空間に生活感や季節感を取り入れるまでには至っていない。	共用空間に生活感や季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるように家庭的な雰囲気作りを工夫することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロー内のソファやテーブルの配置を変え、利用者が思い思いに過ごせる場所を工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真やテレビ、使い慣れたタンスやボックス等を持ち込んでいます。利用者の作品を壁面に掲示しています。	居室にはベッドや整理タンス、洗面台が備え付けられている。 家族等の写真を整理タンスの上に飾っている利用者もいるが、馴染みの物や使い慣れた物を持ち込むまでには至っていない。	職員は利用者や家族等に相談し、居心地よく暮らせるような居室づくりをすることを期待する。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人が安全に活動し易いよう環境整備をし、声かけを行い自立できるよう支援している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input checked="" type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム あしたば

作成日 平成22年10月22日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域に根ざす事業所として、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を全職員で作成し共有するとともに、実践につなげること	全職員で理念を考え共有できる	毎日就業前に出勤職員全員で朗読する	1ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた事業所の対応方針や同意書などの書類が作成されておらず、契約時に利用者や家族等に説明するまでにいたっていない。	今まで通り看取りはしない方針ではあるが、それまでの対応方針を決めていきたい。	かかりつけ医と相談しながら利用者家族の希望を踏まえプランに入れていく。	3ヶ月
3	35	消防訓練で明らかになった問題点や反省点を記録するまでには至っていない。	参加職員より意見を取り入れ記録をしていく。	書面の変更を行い、見やすい物へ変更していく。	2ヶ月
4	52	共有空間に生活感や季節感を取り入れるまでには至っていない。	季節感を取り入れていく	花などを取り入れていく	1ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。